清酒醸造業の勃興

个年度釀造高二萬六千石豫想 州内外販賣戰起らん

研究に

滿洲棉花 ず年計畫を短縮 0

八月分成績

· 100日作八萬八千二百九

相く 實施 見合せ を必要を受ける (ロンドン七日 (日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「 日本) 「 日本 (日本) 「

本月末取扱高

といひ葉でたまよ、すぐに脚下の に溢れるやうに流れてゐる人態の 中に紛れてしまつた。 中に翻れてしまつた。 てるたのなの概集の客らしい、きの大児に押し込んだま」吹つ立つ やうにして、ぼんやり雨子を洋荷の酸にびつたり背中を押し着ける 「あ」、お見さま、あのう… ろを見て知つてゐるだけに、さ さんが来ていらしつてよ 英一はもうさつき入って来ると 神区

各

代

理

及

特

約

店

星丸萬

印善古

威亻萬

光ン年

紙ク筆

白古岡

梅梅田

園謄

各寫

大田の島

** そんなものはまるで数の職には概子さんに合つてお上げになら、総対動の過ぎで行くのだけれど『あのね、お見さまの今夜あなたのびやかに滑いつた女選が数解するたが、やがて顔を上げると新へらびやかに滑いつた女選が数解するたが、やがて顔を上げると新へ なかつた。千枝子は智らく獣つて 髪一はさらいつたきり何か者へ

る線。呼声、野克をつなぐ角のち前に申しました教園線。

いつてるたっ この大の歌

「お兄さま

さう言はれたので気が付いて

一はやつばり

新京で一番揃ふ一番安い又具店

支電 六五

文具の

事變寫與 名物高梁ペン軸 名物高梁ペン軸

新繪便新花卜 京葉箋京札ラ 各書各寫各ン 地各色眞色プ 圖種內帖內類

內 地 土 產 品 各 植

新京風景葉書 傷知 萬年 筆 第二 板 萬年 筆 名二繪寫 所色絹眞 寫各式ブ 眞鉛紙ツ

帖筆類ク

學用品各文具製圖板方限紙 製 和洋高級 事務 型 配 配 数 壁 配 多 圖紙帳用 紙類類品 學半支燒 感襖和內 生紙那付 光紙式外 **鲍**野式器 紙天各文 色紙信具 各半帳房 々類紙類

籍 官 衙 與安省等借》都指定

定通意ホテル

女中數名入用

高級文具工事務用品

帝大農県部敦授農學博士板

中島廣吉崎氏は八日

開州域内棉花栽培は非常に 人港のたこま丸で楽崩した (東京八日麓城通) 大蔵相稜 といへば、京子が電子に向って相の機管寺の程度の珠突螂で、京子とお

のかと思つてるたのよ

「さうかい。そんなに面白かつた

な面白い芝居を御聞にはならない

わ。あたしお兄様は何うしてこん

表に依れば八月末間債額

初京輸入組合 表示。

度信のことをいひ出したからであった。それだから今監視の口からので、管理とこへ観客のなかったのだが、丁度モニへ観客のなかつたのだが、丁度モニへ観客のなかつたのだが、丁度モニへ観客のなかったのだが、丁度モニへ観客のなかだっと膨下の方へ流れ出して子がたので、管理はそのまんに帰る

か用でもある人を見付けたやうなやかれるのを憶るやうに既つてしまっかれるのを憶るやうに既つてしまっ 『いづれ後で悠くり間します 様子で、相良的の話はそのま」に 一は近年の気影に称はされて 一本のよといったやうな気寒りのしない 野郷で返事をしたのが、千枝のしたのが、千枝の ゆるやうに縁を動かせながら、 ていふやうな女は嫌ひよっそり ぬるにはるましたけれども…」 あ京子さんはかなり上手に演つ

事件なんだから 一がさういふと干技子はいよいかな… いふ……さあ、何といふかな…

(百十三) 吉

つて、耳続しいものではなかつた。「相良伯」といふ名献は英一に収 織めく春(九) るやうな順子でもかし息を弾ませ 「ほんとに 今の芝思 頭白かつた (高根秀浩高)

井 勇

兼無上映上演

土を碎べ

知好評を博 出 古野町一丁目 品支那料 御知らせ 理





幣制の関本位への改革繁並

関査を行ひ中級並びに辞録。 こささなつた。商日編金融税 制問題につき領洲戦争さの折 制問題につき領洲戦争さの折 は九日午育八時四十分後ハシ ビン現現に向つた

びに鮮銀及び 行さしての既得權の處理問 北鐵讓渡交涉 人橋、カ兩代表が鎌倉で會談

たが、大概営品の重向を躓らしてその推移を注目されて伝してその推移を注目されて伝 則し急傲なる風金本位は行を順後取特務部則を最後的協闘

り十一月初め宮中に参内 天皇陛下に拜謁軍狀を 天皇陛下に拜謁軍狀を 以て進むことに し現訳維持のまま銀本位を 决定 したもの思 關稅政策の

一大轉換を企圖す

て詰問するごころあり、 算率决定の根據につ

不足緩和陳代 不足緩和陳代

殖氏地門の生産統制を行ふの ・ 機林省では鉄料の如く ・ 機林省では鉄料の如く ・ 機林省では鉄料の如く ・ 機林省では鉄料の如く

紫を見るに至つた。

外なしさ云ふ結論に達したの

り、大橋の大橋

廿番手

過去の漁場貸下問題。米湖一對し場産を要求した

北鐵從業員に

經濟會議决裂後の新狀勢に

大蔵、外務、商工省對策を練る

將以下參謀長佐々木大佐討伐の第○○側の坂本中討伐の第○○側の坂本中

榮を賜はる 陛下に拜謁の

だが結局圓滿に解决しやう

11です。 ・ 11では、 11

米穀統制

前途難行を豫想

農林、拓務

殖民地に代作を獎勵

委員會

要領を得ず物別れ

さして居るさ博へられて居る がーセントの大整選を行けん がーセントの大整選を行けん がーセントの大整選を行けん

同時に加盟會社に加入するこ

任曹操要蹇司令官

技術本部員 砲兵學校是

輜重大佐 加納 實

行した。これは北戦本年度 従業員廿二名の人員陶汰を 管理船は中回突如ソ聯側下

「ハトビン八日發詞書」 北戦

時なら

ロ恐慌を捲起す

領聯合きに関し二十手供給不の減産を示し商工省雷島に紡工省雷島に紡

八員陶汰

を異へる臓れ多大なるのみつある識洲経濟界に大打撃 改革强行は順調に進行しつの場所は幣制の国本位への 大蔵。外務、商工省関係者間 受後の販情勢に處する関税 受後の販情勢に處する関税 の如き確固たる方針を明示す 研究中だが、来議會には左 課税品目を個別的に研究の か否か再吟味を娶す。即ちか否か再吟味を娶す。即ち 勢に處す非常手段だつた。加税は爲替安の昨春米の情

で編税戦展開されんさする形 勢だが我滅では最悪の場合 由、時段獨裁権を観相乃至 相復照税設定の可否決 必要を痛感する

ユーバ冲に集中する

ハイラル某所よりの消息によれてラル某所よりの消息によれて

北域護護交渉成立の場合全線がおり、一覧に行ふゼチスト決行に

打切る程度に縮少する。朝鮮、臺灣に終ける産米

部へ影響多きたの秘密を設守

ゼネ

スト指令を授く

米國軍艦二

十五隻

態展につれ翻殺政策の 日間経濟プロフタ建設、世税制度採用の可否

興隆縣で

日満當局が金鑛採掘

十四首八

「天津八日建設頭」 支制側某方面に譲した情報によれば河 水質政府は催化縣知事かる次 の知き豫告に接したき、即名 問題の興際縣地方で最近日 單なる支那側の宣傳か

現行三割五分の從量税階

は望ましいここであるが幣

E

を要するが現在圓銭替斡策用つ多額なる貸替平衡資金を要するが現在圓銭替率衡資金

で 日本ユーバボニ大道の過)七 - 之でキューバ近海に集中し、馬一に 兵除が何に 大西洋艦隊を中 向はコン なん表面化し事態規模を許る ので一部 ので一部 かるものがあるので、米海軍 干渉は今日 は七日更に脳迷鑑十大後に對 る

米國政府遂に

の反米に動の敵化に對し、米一般を企てんさしつつあるにほの反米に動の敵化に對し、米一般を企てんさしつつあるにほ 武力鎭壓を企つ

務一般を開始する事こなつた 館は髂椎の連輪の貧延期され のたソヴェート天津橋領事

事館念や開館

天津ソ聯總領

し米政府が執つた態度を回想 がける日本の自衛的行動に對

軍隊公

船與の减額が原因

山淵駐米大使よりの公電

(東京八日観報研) キューバ の革命に就き八日出溯紅米大。

デクトは アクトは デクトは

する不平に起因するものでは 等を乗けて思るが實際は軍場 等を乗けて思るが實際は軍場 である。

政府が憲法並びに選単法

革命表面化騒亂益す増大す 米切のキューパに動する軍 キユー

するこさが絶對に必要でありにはキューバに終ける米 めにはキューバに終ける米 の いちパナマ運河航 的構金を有するので、今回物の投資を行び組みの評別投資に匹適する巨質の對開投資に匹適する巨 耐爾爾係に類似するもの

從つて米値政府さしては

藤含ながら非だよい思ひつき荷馬車専用道路近く新設、遅

一士十項 月月 段限限物米

の如く排米的動亂が敵化し では積金擁護さま留民保護 の質め現在執らんさしつつ ある非常手段に出ずるここ は顧州事變に続ける我行動 を同じく緊急已むを得ざる

る運輸委員會第一回委員會は政策の最高方針を審議決定す 委員長以下全委員列隋年前十根師。石川州委員を除き村上 (大連八日發燒頭) 藻眼々道 第一回委員會

キューパ革命騒亂増大、米部 単機二十五隻を泄造、武力断 軽を全づ

力を用ふ、自衛艦行使の意味・高調の帰州事變に處するに兎

右案は内地米の駅泊を減する 立場されるもので、今月末心 立場されるもので、今月末心

村上委員長より委員せ組織目一時より殲道部で観客で開き

取で、之を要約すれば左の

拶あり年前午後に亘り會議を 的姿誦方針について一場の挟

のでもらはなくごももう大丈 投資の有望を力説、それ程誘 判りましたか

アステモ監督

は無料を不要の痔漏さ雖の関ゼやを治す但し質鶏者をはば料金不要の痔漏さ雖の関ゼやを治す但し質鶏者

期日本日より 新京即10 旅 館 是三四四八

C

毎日正午より八時迄 初心の方にも直ぐ踊れるやう思 社交ダンス教授 7

國民政府要人 重 女問題討議 を網羅し

い旨を詳しく説明したソ明明では今回の

加く組民政府の錚々たろ人物間含されたが集るものは左のによれば支那の重大退策を決定すべき直山會輔は六日より 物的 廬山會議六日より開會さる 道次是、其他要人多數出席討 文、外交次是、射政次是、**原**

育談は結局整領を得中に終つ たさのこさであるが、同日の にまのする音を繰返し

北鐵一環流は全く

たさ。なほ同問題は未だ解析を関を得中に終

なく結局週湖に手打が出来るのきころ他に悲觀材料さてはたけるを要する模様だが今には時日を要する模様だが今

ものさ観られてる

一、生交間観ー、生交間観ー、生交間観ー、特交情数の使途の使途の使途のでので、 等であるが近く縁任すべき駐 置いて钙るかを示すものさし、麻が如何に對日政策に強點を 閣する由であるが右は國民政日会便蔣作賓氏が本會職に出 往目されて居る

分會を採由しての募集である 次のものは中華總會から大連 次のものは中華總會から大連

使三等三十五分を四佐(チャハル隊長)

首への戦捐 金募系に着手した 山東二省に互る南北南岸水災宇會分會では黄河流域、河北

||鐵道東鎮洲街市街所在紅萬| |(四平街支島麓)| 過數來四平

▲ 中田 中縣 (帝 近在縣軍人會)
八日 中韓八時者 # 天より
八日 中韓八時者 # 天より
八日 中韓八時者 # 天より
人名 中西中佐 (南部) 貞上
人名 和佐田 中庄 (南部) 貞上
人名 中韓 九時後 華 天 中後三時二十五分智哈市と
中後三時二十五分智哈市より

成績不良

水災義捐金募集

河北

山東の

往

來

金

▲阪神日米爲咨

▲大連紹台向

那回

第二回

(東京九日發館號) 整鎖要 さ観られて居る の種類を考慮し茶館の一定 ・、 人作に就ては稲花。 査備 では砂糖素及び甘馨さする ・、 人作に就ては殖氏地農民

> 明なる監察にて一般職募益りを輸し居るも其の實際使途不 で且つ今回の分も水災義相

互る寄附行属の認め倦怠氣味 が同金々員間には最近数回に

・ 大畑大尉(韓島県長)八日午後四時警吉林より ・ 大畑大尉(韓島県兵)八日午後四 ・ 大畑大尉(韓島県兵)八日午後四 ・ 大畑大尉(韓島県長)八日午後四 ・ 大畑大尉(韓島県長)八日午後四 ・ 大畑大尉(韓島県長)八日 ・ 大畑大尉(東島県長)八日 ・ 大畑大尉(東島県長) ・ 大畑大尉(東島県長) ・ 大田大尉(東島県長) ・ 大田大尉 ・ 大田大尉(東島県長) ・ 大田大尉(東島県長) ・ 大田大尉(東島県長) ・ 大田大尉 ・ 大田大 ・

第三回

各地市場

部一回 第一回

▲新京錢◆現物 金票新官帖 金票新官帖 受票新官帖 受票新官帖 受票新官帖 受益品 受益品 受益品 受益品

氣味を楽して男る様であ

陸軍異動

量の收穫に選せざる場合は 無障を高し、更に代作機関 無障を高し、更に代作機関 を動する こ毎関以下で十個単以内の 計画的な環鎖事業をする 計画的な環鎖事業をする し。更に積極的旋動の途を 地爲替管理法 關東州及附屬

行の見込 廿日頃施

▲ 原田大佐(観衷戦参謀)九 ▲ 原田大佐(観衷戦参謀)九 本 原田大佐(観衷戦参謀)九

大五言

平東

新京市况

▲ 小川順之為氏(大連市長) 九日午前八時音來京 大學一等軍醫(赤蜂衝戍病院長)九日午前八時音來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)九日午前八時來京 院長)二等軍醫生同上

10000 10000

ため砂糊薬、甘馨よりガソ 静する ン、アルコールを採取す

滿鐵運輸

(東京九日穀湖通) 陽東州及 (東京九日穀湖通) 陽東州及 (東京九日穀湖通) 関応の準備を (東京九日穀湖通) 関応の準備を (東京九日穀湖通) 関東州及 (東京九日穀湖通) 関東州及 (東京九日穀湖通) 関東州及 (東京九日穀湖通) 関東州及 (東京九日穀湖通) 関東州及

その日く ▲華○○團傷病兵三十三名九 日午後三時二十五分替來京 八日午前九時五十分最公主 八日午前九時五十分最公主 八日十十十二名 經濟欄

日本一

人車夫募集

大豆、酱 | 1400 | 11車大豆、酱 | 1400 | 11車大豆、酱 | 1400 | 11車大戶 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450 | 10450

钱一一物

海外經濟

対ち疾専門治療院 展別する事神盛の如し出

害

新

泉

切に教授致します

鲁

日本福 新京會館教授部

元は澤正の愛第子

上山草人の芝居のピラが

この大それた罪

部級に逮捕された一萬五千圓 配長に逮捕された一萬五千圓

において、 にはすっぱ役者の他の女族 生活を断念して東京の我家に 生活を断念して東京の我家に はいれの舞台

京の各漢字紙は七日

以て其の

何条使の渡支については在南 映祭を儲けるこさになったが

株三郎し大変方の如く述べて 村茶箱の陰

の四探偵さして有名なる明

地に利用されたさのことであ 一文情円 を利用して地質を練り進んでこれを阻止又は破壊せんごするもの止又は破壊せんごするもの からず云々

祭並に日支護交の打別をは 外相の命により本月十日出 の表演の任務は議別の親 の表演の任務は議別の親

カゴ美術館長から我外務省を「東京八日韓國語」数日前を 女部省に日本美術紹介

ョークを始め十夕所で開いた。 こは昨年ニュー 歳中である。 こは昨年ニュー いごいよ食味の使樹状が舞込を間でかったいから日本美術家等を健こなつて光朝に接続音をを健こなつて光朝に接続音を 美術展を大郎市で開催しやう

大展電響が開かれるわけであ 品なぞの出品を希望してゐる 日本橋の大作や日本美術工藝 を出ふこさになったもので 村長連署襲印して請願督を作った 集合、領場一致臨憧縣の議別 向合併時期をなすに決定し し臨楡縣第一區村氏は去る三

は來春三、四月頃

松波博士等 ハルピンへ

終遠新彊間

情観察研究の目的で全國大學後の領洲國の経濟事情並に民

日期用版はこの記念すべき日二周年を迎へんさしてゐるが

汽車公司では経道主席傅用義

恨は長り

を一層意義づけんさし各主要 し主力機器を掩護するに決

整す楊王山止びなく念を竣方の頭部を貫通し楊玉山の馬を の頭部を貫通し楊玉山の馬を の頭部を貫通し楊玉山の馬を

柏原中尉奮戰狀况

八台嶺

し、飲を一蹴して願領西方高 集中せる貸山田部除の主力は 集中せる貸山田部除の主力は して敵を腕髄せしも痛憤造剤 此頃数郷摩主力は八家子よ

た赤木常盤女史の母堂と高砂の尉と媼四日菱刈全権に水引細工の高砂を贈っ

高砂の尉と媼を贈る

は沐石河一宿雪し枝夜間線を門は老賀李屯に其の他の主力

濃の隘路口を扼す即ち少尉 北何子西側に小丘あり大磯

したる第二数導峰選接の討伐 電を掘びたるも途に長蛇を逸

八月三十一日八台僧を掃蕩

少尉が大磯子溝に進入するやを從へ急進して敵駅を搜索す

長指導す)は其の夜教官山田降(朱少將指揮し、石黒教官

少佐の指導

中島進し約八十米に近泊せる 中尉の右壁を貫通せるも屈せ 中尉に射撃を集中す。一扉は して突進し將に丘阜県百五十被勢せる馬に爬打ち士兵を督

岩角樹林の暗に続い如くげへなきに非字や紋は繋ぎへ集喰 温厚篤實の人

郎氏の長男に生れ数兵さしか尉は京都府宮津町の人為 少兵台二十聯除二大隊七昭 月命一明軍官候補生さ 大問元甲 少尉取死の帰還するや其功

國際探偵扱い 相も變らぬ支那紙のヨタ あす東京發の豫定 公使を

ものに外ならず、即ち彼は、ならいならが、即ち彼は、ならが、のでは、からにありて何せらるともからにありて何せらるとも ン三同僚たりし関係あるを 間において常にライヒ

低報の如く近く粛洲及び支那 て知らる・杉村陽太郎条使は もが弱外受官中の事盟通さし

既報の如き手段を以つて引出側の正陰銀行鎌金備帳を發見 抽出にあつた一萬五千二百余 率か四日座敷掃除中タンス に入用な資本を物色中幸から日地にて一機がけ様さを

使十時新京牌後列車で替奨除 た寬城子游動降祭隊小野田、 ・

祭除員及び家族に護られて放掘 一、鈴木雨警長の遺骨は九日午 时代に出動中名譽の戦死をさけ

皆さ

ま送りませう

津浦線でも

スピードアツァ

の数(二)

八日最高的)幸雨鐵道

横綱にて飲酒をなし、同時科し其の夜は三笠町のおでん量 像の用窓して置きたいものである ルよく九月十五日よりこれ 東せしめ。時車は前部から行 を被脱客取扱ひれ一する事は に徹底せしめ車内の整理の萬車準は繰到着前に其の蟾蜍客 に自己のほめ父ね互びのほめ を冒施する様になつた、樂務 4列車任幣前及混雑せざる線

シカゴ美術館長より 日本美術展開催希望

氏の援助を得て今回経選、新 ・ とは大体左の如くである ・ とは大体左の如くである 臨楡縣々民 **校選ー帰化城ー二里何ず 桜泡**Ⅰ . 化城-

外務省に問合はせ來る。

松遠−輔化域−哈密 二九〇元 松遠—歸化湖—古坡 迪化 元

滿洲國編入請願決議 て目下調査を行つた結果市内 能で服毒自殺をはかつた杉本 能報、本月六日会主磁丸鳴旅 服毒自殺 公主館の

献世と判明

代表五名を新京に派す 入つた。尚一行は霊地に二泊 氏止宿入梅本正次なる事が判 銅山號遭難の

模様を語る

大き出正二郎一座の俳優さし もり二十二才を両井順之助い 機を辿つて見るさ彼は十七才 であるとのはは十七才

斡旋でハンビンの機島組出扱

たが質姉(現村松氏妻)を類つ

だが旅役者時代にしみ込んだ

何時を立つてもうだつのるが

生活一 は城市の6

係溝に於る爆破事件のあつた 領洲域既生の楔機さなつた柳 ハルピンの行事 5分ピッ八日龍崎通)江坊 (ハルピッ八日龍崎通) 江坊 相は次の如くである の拉致事件に関し同船操舵長

名來職し同船を釈挿、團山大月二十二日開山號が四排 より火艇一隻急航し側山泥

亦色無電臺を設置 共產黨再建運動

・ 関京八日豊福蘭) 警視総行 | 高深では共産館再建運動旺ん 中尉の遺骸は沐石河に運ば 数學聯將兵日系軍官及數官 一味警視癖に檢擧さる 下の信仰厚く日本人間は勿

有像なりき ・ 有像なりき の機性者にして第一期軍官候 軍官士兵の偽唯一無君の教育 本軍人の眞價を發輝し誦酬品なり。其の忠烈なる發徴は日 補生出身看中第一回の戦死者 日滿協和の契機 は深く且強し **夕尉は賈に第二耿導隊最初** りたいご母費不要 **きるし由、心身の弧鍵さら** 完全栄養化の試食さ講話會 兩女子を交へ

拠に抱かれ三日四度八台衛

分尉の遺骨は戦友日菜軍官

し四日献の根據昭宋家溝を攻撃し降樹底トの山地を推

に依り懸うに英毘に付せ6

十四日の月は平原に冴へ征

をなし日端親善の製造さして 電東京市における観楽等人を 中合會の社會平谷縣談會に列 の日本事督談會で在新京各派 の日本事督談會で在新京各派 の日本事督談會で在新京各派 **懇談會**

IB

軽油動車の 十五日から 後部から栗車 一游動警察 遺骨今

夜故國

約一ク月半の豫定で北支去をので顕洲副成立後の各種

行かっき持つてるます

な舞台生話に機能を感じ目

敏懸祭を盛大に奉行し述べの 関内に於て頭捫事受殉。職者の 當地に於ては大体昨年通り日すべく答々協議してゐるが。 都市に終ては種々の催物を高 のる事さなつた、同ほこの日人柱さなつた幾多の英麗を慰 所合同に彼り埠頭區市立大条 世自殺をはかつたものである。 其上思はしい就職口もなく駅

村を以つて沿線三十九ケ

改正しスピードアップを闘つ

九月一日よりダイヤの一郎

てゐるが右質現の時には從來

の直通列車運輸を計畫し既に る十月十日頃より北平上輝間

してさた。ので無吐の杖を所持しまたもので無吐の杖を所持

1

関さしては劉明的のこささし 二時間で旅行出來る摩で支那 で東行出來る摩で支那

て各方前より注目されて居る

(八王子八日秋迎典) 中午前 二時四十分府下三多摩郡町田 町菓子商から殺火して百六十 町東子商から殺火して百六十

がード少將極地探險の

を招き講演會を開催する事に 各工場の汽笛を合圖に全 番組駐屯の飛行線では哈市上 細では事變に關係深き將校 於て日開地方人を以つて曾 五日開原谕鐵地方事份所 鐵道愛護聯 合會を組織

偲ぶ事になった り機闘することになつてる た同會では會則を制定しこ

明人港の『う6る丸』で 新聞編輯局長緒方竹虎氏は 特別の『う6る丸』で を もたが船中語る 緒方大朝編輯

は来る九月廿五日ポストンを出身し第二次兩層裸線の批准の注目を惹ひてるる。少路のの追回作製並びに新陸地の設めにある、除員は七十名で利回で同様数毫の飛行機を携行の唇である。

以て盛名を博したパード・外籍 「ワッントン七8種園道」飛行過による南北州権の探験を 授験を 授表 調チーム 2 四条関球塩で対戦 京に來征、 学後一時から緘洲 奉天實業團

山中佐はいよく、明十日午前後顕東軍第四課長に新任の秋 八味管任する事さなつた 秋山第四課長 あす着任

年後三時二十五分智列車でハ ・サルビンより東京研京康戌病院 ・ 水容さる 傷病兵來京

朝八時題版は自己の所有する火艇に拉致武人十名を乗せ監領中の島に殴り屈び同所に於て監領より来つた火艇に十名を引渡して引返したものである

私服の赤系鶴人一名來組しの碇泊地點より約百米の下

は夕剥踏質に引返したが翌 で立去つた。然して右火艇

中氏を傾し一時間餘絶対艦家 水原地に於て月下菱刈り東軍大の客だが五時半から附近の 明十日日職日午前五時より西修養國新京支部では例に依り 美壓式保健講話 市民早起會ご 観外の堂食車汽

二八五帅 九四

車食堂自慢の料理

大車ランチ、鍋料理、支那料理、5な 治車ランチ、鍋料理、支那料理、5な

銭の大英斷的大奉仕を致均一ビール三十銭酒十五 禮申上げます 員の狀態店員一同厚く御 ては謝恩の爲め九日より 様の御好評を博し日夜滿 開店日なは淺きに不拘皆 就きまし

汽車食堂 象を 深い好印 吃度皆樣 での一食 食慾の増 おあたへ すること にあるし こそは す時です 6

といふ難に、二度的間で アハイ、 勝分級ります」 現を献して素知らぬ感。新屋を 折から極野が「騎線が召します」 マ、おがの父孫城都県を開始ったる。 を、おがの父孫城都県を開始ったる

(H+H)

(純土化

●一白の人 物事に移り使り ●の献しき日自信を貫くべし こさ来さ変が占 の高元悪の人 必選なれきも自 ら墓穴を振るの恐れある日 度き至さ丑が吉

●□碧の人 夷事油断すべか

を附けて失賞を招くべし

『オ、お願さん、院の御用か実路 我から我康先が無観したる。 献立になくてならぬ歌の重要、 実解靴 調佐を明らさん臨い斯様な企みを 紫土館の十枚頭を、其中一枚いつ

適自ら人の來る良好なる。

地味に変めば脳

お恨み申しませる。所替命のない 命動けてお召修ひ下さる御馬。私 したる前の経過、なび揃いなりま 此殿の倒せつけ門りは、真人子為は腹た間も窓れは致しませね。略 ●七赤の人 福運再び廻りて

利益も相常に揚る幸運の日

0

吳

陳

巳き庚き受か音 亦多し堅く定業を守るべしれ紫の人、危地に陥り損失

医大阪商船出机

②

村岡吳服店

服の店・

十文字屋

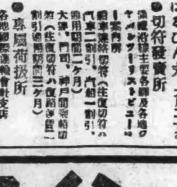
11七三〇番

钦京女學校制服調製所

電話二一二四番

古理阿二丁目

京るびん丸 九月十七日 東米利加丸 九月十七日



を ゆあ、例せに指きましたれど、様に は即原波しの馬分一、一世身を粉で ゆあ、例せに指きましたれど、様

が成みと見ひ、他くも歌に**代る** ねじけた者のあ、汝も子としてい るに、何で左側な大それた事数し ● 專屬荷扱所 各地都際連續會計支店 大阪商船株式會計 大阪商船株式會計 大阪商船株式會計 一大連支店

空前の

18

るいまと、勝手知つたる城戸町のとも思ったが、蘇明りで四連は明

しゃる、直部館へ出さつしゃい」

職して、手服

『能く申した。忠太夫家土蝎の屋

館と 焼せられ まして

「大碗殿・御前様は四阿に居らつ

大大が符つてゐて、

いへ来て見ると、英語には棚間段

しても比を延け此残さの中で、東 『オヤ知らの間に此野 選種で今

既へ御服とは不供職な事

頭り壁いたお薬



は、共上にて予が手材に扱せて造 はできった」

かいた構の二重縦、腕骨の揺縦を

息太大やをら立上つて、此がに

『お破跡・戦ら白を切つても此事

承の上三等は直に各 品一二等は御希望邦 非常時籍鐘の赤玉日 當鐵(各租共通香號)景 去月廿二日抽籤(新聞 成功を收めて終了! 秦代理店立會) 下 能 御

の向へは規定のト 夫々發送問日當飯池 ス紅茶其節邦送済み 御諒承を「茲に應募 頭谷位に野し深甚



疊接台 • 錦紗訪 (內 — 品 十八金側旋時計 (各國政府)

185 二等トランク 又はスーツケース(各種政制)300

三等 日の丸國族 4 43 67 75 83 102 121 142 147 217 257 306 331 350 353 366 367 392 393 470 481 483 506 508 525 563 580 631 666 671 693 699 719 724 748 753

電話二一三七番 吉野町二丁目五

計書齟齬して取

今秋流行の新 柄

昂 政 先 己 日 宿 。 資 卯 報

臺 世帶道具が揃ひま 新京日本福通

洋

川 行

家具ミ敷物

品



時局打開氣運

米國の干渉を虞る

ト門野氏が日取

ーがの政狀は混沌を悔め。 假 でラス假政府の崩瘍以來キュ でラスになる。 「ハバナ八日酸調通」デセス

総監督官らど會見

リンシカ日建設別)東京駐在 には九日ペルビン丸で素調したが、左の如く語る 関連的代表は全部東京の管 にあるので各地の商務官 で選絡をごるため楽ました と選絡をごるため楽ました

格で派遣に決定、近く機會で機関乃至オブザーヴァーの資

限問に仲はれ貿易省總監督官 表一行は八日午前十時半門野

技術方面以外の常任重役は何校術方面以外の常任重役は何を要求されて思るが

てる保護の

經濟關係惡化

ソクによる

れてるる、フランス及イタの標準競争を激化さすか

り大厘方の上向きを見せ本邦南明の一割より一割六厘さな百九十三 顧を増加平均紀常率明に比し二百六十二 馬四千四

我國から三國へ警告

(ハルピン九日最國通)徐家

に値するに至つた、即ち北欧 現地火渉の成行会は重大観心 出發し北ば

到着せるタンク車十市価をポーカ未解決の機残されてるる出境機関車に就ては環内であるの別個の財業されて通収分離よりポタラ際にして通収分離よりポタラ際に

任検渉に張係が耐を歴訪した概束が面を音澤氏の値剣事就の値剣事就

注目を明寺が懸けられてゐる ので間氏渡支の結果に多大の で間氏渡支の結果に多大の

就任挨拶

吉澤總領事

要へソ聯切の不正行50の期本 の場所の場所関係に続し季数法を の場所の場所関係に続し季数 は定に基くパリテーの實理を の管理を の情所関係に続し季数

十河理事の

管内視察の側長の

一、軍縮を除く英、米、佛、伊 別用せよごの意見もあるが 外務省では作ば的術館を罪 するは絶對不可さしてゐる がのき対立論係を

に 踊し日佛外で 陰悪化の懸れは単先して 領洲を承認し フラン

ではいいできますが では、まだ何の話もありません

管下各職長を召集して九日午 陽東軍憲兵除司令部では力日

北鐵現地交涉

风行き重大視

満洲側の要求望み薄

では哲関不可能さなり、交渉のは益々ソ聯側の起権り貧に属する対策も東京合語の如何に依つては遺嗜し難い状態であるのでは遺嗜し難い状態であるの

クラ緑に抑留し、ソ聯例を引 の北暗貨率の引當になさんさ

長會議

九日司令部で

中 入り午後四時半別會した 「日 報告あり、引機さ重要協議に 長出席、線長より各地の情况 長出席、線長より各地の情况 では、 一 一 一 でいた。 ・ 一 でいた。 でいた。

大新京郵便局郵便課長木村良恵任挨拶に編係各所を歴訪し

憲兵各部隊

新舊郵便課長

更任挨拶

日本の観体は日英間は経

加盟の六十二叶上半別成績三年東京九日後戦が)紡績聯合

外務、陸、海軍三省聯合會議で

井上洋 上洋服店

初布地豊富人荷

いるのである

交通量調査

08060606060606060

0

異にしてゐる。しかも今後 味に据 長春 時代 さはいろ **期限―にはか何に發展す** 「倒年―明力委員は二個年 地方要目だるものを使か今その途上にあるのだ

は睡薬すべきで、全然ものの特臭で肩書を利用しやうの特臭で肩書を利用しやう が続分多いこさも思ふ。そして切かねばならない機會して切かねばならない機會

究會 遠藤崎長南下

ため十日午後十時新京を出登 旅順。大連方面へ挨拶廻りの 遠稜線務總長は瞬日秘密得同 十五日朝帰京の豫定

〇七、人大八、二四四圓

也二、七六四、大九七周二九二、七六四、大九七周二

二八三、八八八圓五七 二八三、八八八圓五七 二八三、八八八圓五七

栗原總領事 各方面を歴訪

(きのム商業課堂で) 中銀國幣發行額(自八月二)十五日至八月二十一日)

原機関帯は管任平々各関係方

なく仕事をして行きたいさ思 って着る」さ語つた

界巨頭運が鍋洲崎の経濟建設

| 「宝藤」 | 「田田」 | 「田」 | 「田

職を交はし歌談八時半頃散會あり之に對し鄭貞務總費の謝めり七客三種の盃を奉け祝宴職の選を奉け祝りませる。 日間各界の代表百餘名を招待

「チチハル九日韓國権」書他 駐屯の個○瀬長は管内巡視の ため高橋高級副官外將校六名 兵若干を願へ映甲剣車でチチ ハル發克山、海倫力雨に向つ た

であつたが、最近研究調査會の東京九日登颉領)十河線鐵

行總裁侵公議一派の浙江經濟管た處。今回圖6する中國領

北洋漁業の

財界巨

頭らど會見

谷參事官

をキマトホテルに招待、着任 お課長以下購買取司令部常局 任参事官は力日午後大時小磯 取り回りを招宴

泰日田誌(楊郑昭

さし乙が晩朝による北洋流楽の鉄統への発統を登り入れた。

新食品 は、 海軍、 通信其他各方面を 第四日替 林、海軍、通信其他各方面を 薬がなり 其實現に就き諒解を報示し 北静漁業 に大角両用、南端相等の費息 に大角両用、南端相等の費息

永久的職樣を企圖し最近機

産業建設ポ

商業校講堂で

事紀念に西廣場小馬校父兄曾 敬氏は大連移住につき子女在

の氣温以品十九度、最低 氣と氣溫 最低十一

原別透産業態度ポスターを懸いまでは、 のでは、 ので

入場料

波光山山吉澤洲 式有一审秋虎天 H 吉川秋杏











ハルピンゼ

當る 十九八特日日日等 (明報子)

圓三十錢

吞風

盟 曲

會大曲浪的期劃の後絕前空るせ羅網を萃藝流名の西關ルーオ

詐欺罪

藝妓で情死の片割れ安藤保

經過部工務 課產 自安藤

た、な怪彼が戀故に犯した酢食器で共に酢取罪さして一件

日電に支排ふこさになった 月納制で毎月分を其の館月末電話使用料其の館料金は絶て

支那の大空軍案は

馬鹿にならぬ

新京秋明ラグピーリーグ戦の 明幕戦だる領別の政府チーム 統いて観儀される事になつた 統いて観儀される事になつた がにて観儀される事になつた がにて観儀される事になつた がにて観像される事になった がにて記録者を頼けて来て居

△端洲國 F·B·田中

我陸、海兩當局觀測

教官一的に練習す

海軍ではたの如く言つてる

した一騎當千の古つはもので

F、B。 村馬 學、 脇野、 神田、 高 即毛、 古鳥 鹿毛、 古鳥 鹿毛、 古鳥

満洲旅行の安全ご愉快から 八月は千名を突破

一入國並通過者

人間外人骸況は次の値りであめらう。なほ八月中に於けるなに至つた食めでは満洲旅行の安全で愉快が一 二、職業別 商人の一九八名が第一位に居り宣教師九八名が第一位に居り宣教師九八名等年五四名教員五九名技師四一名書師二九名新聞記者一六名等あり其他報業婦人一五五名は前月に引きを受けている。 人二八名リトピャ人二四名 波蘭人二〇名瑞西人一八名 蘇華人一一八名鑑乙人四二

、入國數及性別

中央電話制金の技術のであり、 へ被送するもが右に関し特に 支拂ひに就て 初京中央電話局から注意 分は本月二十日<u></u>
盗十月分は十 東書の支拂明日を繰下け九月

名誉口五四名研州里四四安東一七三名山海開一〇

又は市内長客電報局窓口へ新中央電話局かり乗電話局が つたが其の主なるものは 電話料金關係

乙號金三圓五十錢

百二十國を借り受け国取し 要求し旅費に窮したものであるさ詐縛し見確舎の提出を 響求し旅費に窮してるるさ 要求し旅費に窮してるるさ

正午西廣場講堂で

赴せる點より雷局では漬恨

をはなった。 100位土産物に捺印せしめる 100位土産物に捺印せしめる 100位土産物に捺印せしめる 100位土産物に捺印せしめる

であつたが、裁判の公平を明年数令第八十一號を発布された総治恣匪法は全然一審制度

昌圖に

暫行懲治盜匪法施行中改

記念スタンプ

沙河口開原

1、智付鎌治協匠伝中改正の議上程翻案はたの二項である

右の如く帰東軍工務課員さ低

橋で骨牧廼家にて費削してる

事變記念日に 五機チチハル曽 ヘル七日他) 議門治安 官民祝賀宴會

飛行の

話機一倍好

の領洲を一

で六日錦州を出産。

審制度改正

・オールの侵債敗した! スコ 持者強豪マンギンご財戦セフ

あすの國務院議で

關係議案を上程

九月十八日禰洲夢雙第二周年を意義深く配念しぬ民的感似を繁後を新たにするため氏報の頭り者澤總領事、荒木時局の配念宴會閉身をするこさしないたがその要領は左の通りで

0

金一周五十銭 九月十八日正午

は地方事務済庶務課。

午前四時頃市内永安街の雑貨(テチハル八日健認道)八日 チチハルで 主從三名を

多のりにして即化せしの過走の三名を鋭利な内切底丁で液 商養組ま力に数名の党演が表

膨れる大 八月末附屬地人口

協磁社員台では台に関する一

を石板で

滿鐵社員會通知

普通學校運動會

刑の判決に対して司法部が再続官の上訴を認め、同時に死

る復審制度さなすばめ、今回

的宣傳によつて我もり 景氣は拍車に輪をかけた大々端別は首都大街京の繁晴しい **禺六千名突破**

周 女 八、八九一 朝鮮人男 一、二三四 朝鮮人男 一、二三四 朝鮮人男 一七、五七六 五七六 三三六 二三六

新京 で秋季運動管を奉行する雨天順延午前九時から同校窓

じであつた

「東泉九日経速速」大大學野 をが、當日は恒例の入場式、 始球式、塗族掲揚式は無く直 ちに試合開始のサイレンが鳴 ちに試合開始のサイレンが鳴

戦始まる 秋季リーグ

さしでは一周三十鐘、一等一料の如きも拳天で特等二周を その藝風を新界の

耳ざわりの良い説調高路的ななでで板機軸を出してるた。なでで板機軸を出してるた。 天中軒滿月 關西浪壇

師の趙しあくまで深刻な藝風である「美しき卵」「死美人」である「美しき卵」「死美人」である。「美しき卵」「死美人」である。「美しき卵」「死美人」 流筏納台以來上流の匪賊横付さ江水の個係なごから異に稚林江採水公司では上流の匪賊 株江採水公司では上流の匪賊 株江採水公司では上流の匪賊 た数量に近づけんご努力中で あるが現在下航中である流 あるが現在下航中である流 在萬尺梯も足らず、十月中までには三十五萬尺梯も足らず、十月中ま

本が利息が下すが、第二日、午、紀今心安、川、住 宮氏合同左記二佐り紀念宴ラ開催致スペキニ成本市民各位 宮氏合同左記二佐り紀念宴ラ開催致スペキニ成本市民各位 多数何参加下すが様柳順申シマス

秋季ラグビー戦

新京商業と満州國

けふ午後二時半から R、B、青松、丹藤

利の多い語り口は又特種な暗味のあるもので思ふ 鴨江警備の

等しきため、充分の活躍出來 恒軍所江水上警察局では従来 一偉力加はる

市民各位市民各位

荒 本 章

あすから長春座で 浪曲名人聯盟

のさして名人聯盟を招き人場 京演藝部が浪曲の巨頭顔合せ 中に來る豫定の最後のも 今年掉尾の巨頭ぞろひ

で盛大に同校見査袱学大護動者を以て各方面へ案内駅を要があるので山本校長が

流筏運々 待佗びらる 昭和八年九月九日朝行出り候場中日午後四時自宅出棺大正寺に終て

宮戒紙人會進亡 代

以郎三馬助藏治サ

上上向り柱子研察一のイ

を受け、江戸間でタンカを切る は彼女の彼女たる歳だ。だ は彼女の彼女たる歳だ。だ はな女の彼女たる歳だ。だ

アー左の知し

大型大三大 大型大三大 大三大 大三大 大三大 大三大

イラク國王

に申告をなしたので機械五台 者する者で、今後の江上警備 に一偉力を加へる事ごなり明



を日念記變事

ずさ言ふ者もあるが新聞にが敷備しても愉るるに足ら

を隣近に持つこさになる。 低行機数も増加

は出来り、飛行機散し増加ちさ云よこさだから馬鹿に

を軍戍設、航空路時 支那が他緩の援助を

呼んでゐる。倚所軍のメンパーするものさファン連の興味を此の兩軍の興戦は相當白熱化

〈多文口智が達員會人婦合聯京新 (対線で所習簿事業) 中作製を章胸の花造

驚歎の他なし

か日本「圓」に對し聊かの高功し、今日の間刑以「鵤」功し、今日の間刑以「鵤」を包収し新紙幣設计に成

格本、 市河 板模、 加谷、 加谷、 加谷、 加谷、 加谷、 加谷、 加谷、

最後援曹に金一封を寄附した哲英返へしの意味にて新京時哲英返へしの意味にて新京時

である現在吞風さ共に親友派

廣澤虎吉 カ士师の演者

花輪氏寄附

共に硬軟滑稽浪曲の順大幅である、上島で森味のある鶴風は駒歌された鶴屋である、上

日吉川秋齊 先代秋本

日下失人同件新興島洲崎の電は八日朝大和ホテルで左の印として有名な米崎哲寺者ダブリュー、ディー、メイソン氏

一短日一が近くしる 殿をざる

米國の哲學者語る 歩その繁美に導くである。 ける日本の候別に続けるこの二點に着想し努力を頼

| 田大当市 | 見る時待に 原銘の深いものがある。遺 店姓校事業も満別はに對す る效果ある貢献の一である。遺 のである。 遺別の一である。 遺 のである。 遺別の一である。 遺 のである。 遺別の一である。 遺 を強去し且産業の刷新を は関内の産業的程度に割込 まんこする資本主義の幣害

版りである、此理想的指数から見ても日本のアジア大陸進出に何等他置なきをが は編州側に終て乏も新かる 本をせず却つて記氏の一般でに対してある。新たに経済の一般であるが、日本 である。新たに経済機構を である。新たに経済機構を である。新たに経済機構を

年前八時三十分から同校ル底 高く気情き来る十日の日曜日 高く気情き来る十日の日曜日

×

有給外務社員招聘

の有無を問はずせ五歳以上の活動家(男女不問) ます

四出 ₹·張

木板藝術展覽會

京山石風 新龍曲の古豪

左記の通り開催につき奮つて御高魔を御願ひ申上げます木邦版畵界の首位を占むる高見灣版の木板藝術展覽會を

新京中央通新京圖書館

浮世繪、油繪名作複刻版志

3

愛とに富む

日衣の婦人を派遣

海外協會の優しい手で



目らの堕落 婦人は慎しく朗に淑かで 心すべき數々の例

は夏の頃から始めるのが

近代的流

行

0

を誇る

二キビの手當

8

大昭公司電氣部

新京老松町十一番地

定 仕 料 出食理 内外線電氣互事並二動力据付 各種電燈取付五事請員

電話 四 八 二 六番

生 食 西

京

道

樂

庵

大連煉瓦讓新京出張所 住吉町二八八(鐵北)

あ あ 信 た の 日

價

底

康

品

證

瓦製造販賣

荷

ラ

イカ

廣

角

ラ

カ

遠

品

ラ

1

カ

D

型

カ

前 出

衛生は御安心電話与り次第ボボッツに湯減をたても興届致します。 医物の事で興産います。 度お召あがりとさいますれば御氣に召すこと物の事で興産います。 度お召あがりとさいますれば御氣に召すこれが 日補うざん 天津ポーズ 其物一品有語 豚まんぢう ŧ II ALIN 滿洲 料理 Ŷ 通日朝福本日亨新 マハ

番三二八四話電

高級レデーメード 富 服 生地--裁斷---仕立---入 きつど御氣に召します 荷 冬 服

11

洋服店 電話 二六一九番

、滿州國電氣指定商會與東軍電氣指定商會

特

便質ナルラ以テ建築物ノ永久保存ニ

節約シ得戦造販賣

管業所 I 塞斯一丁目十七番地

東日右河門門港區 基 製 目 引替 工 **湛洲國際** 塲 完)時何ひ致しかす 金龍洋行 水柴町一丁目電四八三五布

寒 防 見よ 常店の躍生振りを… は 仮 に ! 合 破 理 格 的 販賣 提 供 靴屋 店 竹

新 改良白色煉瓦 賣

コダツクナーゲルカメラ各種 ライカ用引伸機 7 アロ井)

新

京銀 吉 野町) 電話二三九〇番

置尊佛米爽

た潰瘍面や爛れ粘 する特徴を以て居るのであります 整つ身体には疲勞倦怠の副作用なく極めて少量で奏 校を未然に豫防し得るかを首肯せらるゝ 見の家庭常備藥として遺憾なく効 を寄せられて居ります以上の成績 性慢性腸カタル て居ります倫又多數の臨床大家に 一六四號)學界に發表され又小山 陽桿菌有毒瓦斯の生物學的實驗を 國大學醫學部甲田醫學博士に依て 学理的根據に基き吸著奏効するか 悠傷風南毒素の吸著實驗を行ひ共

元大阪桃山病院副院長

勝チフス

き

温の三〇

き・

图博士山本利平氏 報告

限の損傷部までも被ひ補ふて便通 を吸著するばかりでなく勝壁に出 **著療法剤であります從つて唯單に** 之に活性を附加して一層吸著効果 果優秀な植物性炭素に更に特殊の

赤

黑〇明〇 十五歲

リ下痢モ亦止ム

○ **基**博士 小坂禮二氏 報告

アドースノ浣脇ノミヲ行へルモノ赤痢二十五例内服ノミヲ行へルモノ赤痢二十三の疫痢十三例脇チフス十例の疫痢十三例脇チフス十例

疫 痢 山〇文〇

急性膓カタル

發病當日入院体温三十九度 を引動する。 を引きる。 をしる。 をし。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をしる。 をし。

急性大膓炎 (層量博士 甲田猶之助氏

山○伊○ 十七歳

衣

錠(白錠)

一巻大二振フ加療四日ニシテ 巻大二振フ加療四日ニシテ 三回投奥ス翌日ハ下熱シ食 齊〇二〇 大膓カタル

一例疫痢二例皷膓三例加答兒十八例急性大膓炎三十例小兒食餌障碍腸結核各十八例急性大膓炎三

消化不良性下痢

ナサシム翌日下痢止ミ 全治 が服 ・ シメ下腹部温罨法フ が服 ・ シメ下腹部温罨法フ が服 ・ シメ下腹部温罨法フ に変す 橘〇 勇

以後下痢ハ全ク消失シ敷胸 ナリ爾後反覆セルニ第五日 ルニ發病第四日下痢三回ト ドース五瓦ヲ順用セシメタ 翌日下痢半減解熱ス更ニア ス五瓦ヲ頓用セシメタルニ 三十八度七分S字狀部二硬重下痢一日十回粘液便体温 結ヲ関レ壓痛ヲ訴ァデド 全の消失シ全快ス

を病五日目入院体温三十九 を病五日目入院体温三十九 が満下痢一日三回黄色泥 が横下痢一日三回黄色泥 が横下痢一日三回黄色泥 が横下痢一日三回黄色泥 がある。

(置土 五十嵐雄二氏 報告)

夏の衛生」(小冊子) 申込次第無代進星

1000錠入 三一五锭入 六十多 五00紀入 劑 (黒錠) 円 素 五0錠入 五十九 円

七り通縣山連大 所張出連大 • 二四町門小画府城京 店支城京 二町修道區東市阪大 店 商吉友澤藤